



User Manual

Foxit ConnectedPDF

Microsoft Partner
Gold Independent Software Vendor (ISV)

Copyright © 2004-2016 Foxit Software Incorporated. All Rights Reserved.

No part of this document can be reproduced, transferred, distributed or stored in any format without the prior written permission of Foxit.

Anti-Grain Geometry - Version 2.4

Copyright (C) 2002-2004 Maxim Shemanarev (<http://www.antigrain.com>)

Portions of this product Copyright [2001-2016] Solid Documents

Permission to copy, use, modify, sell and distribute this software is granted provided this copyright notice appears in all copies. This software is provided "as is" without express or implied warranty, and with no claim as to its suitability for any purpose.

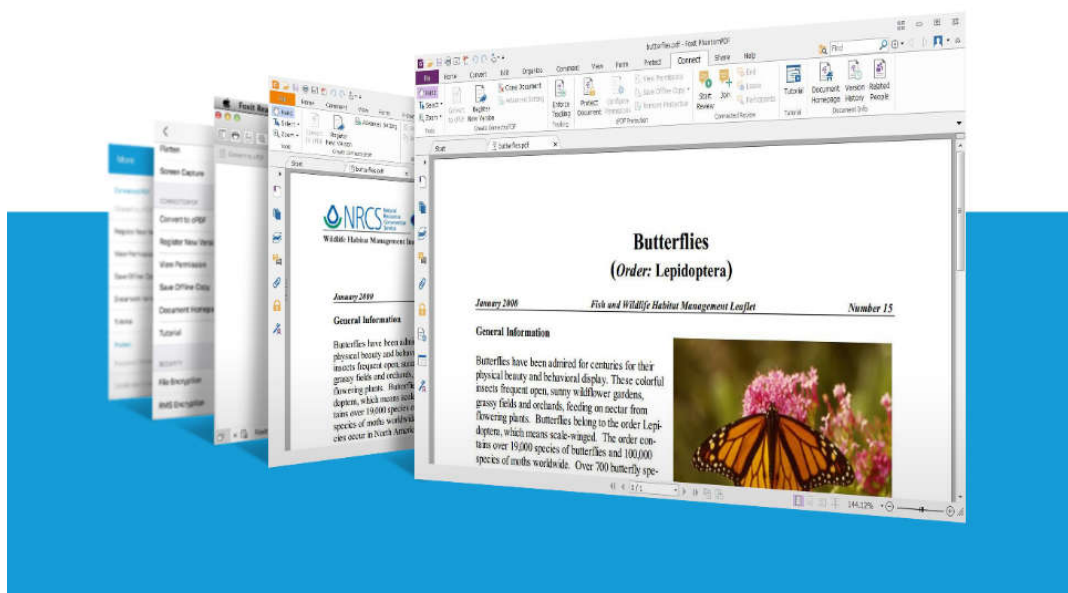
目次

目次.....	3
ConnectedPDF について	5
文書のホームページ	6
ホームタブ.....	7
バージョンタブ.....	8
表示タブ.....	8
イベントタブ.....	9
アクセス許可タブ.....	9
ユーザータブ.....	10
統計タブ.....	10
Foxit アカウント	10
ユーザーのホームページ (パーソナルホームページ).....	11
ユーザーホーム.....	12
文書	12
メッセージセンター.....	13
ConnectedPDF の作成.....	14
ワンステップで Connected PDF を作成	14
新規バージョンの登録.....	15
文書のクローン (PhantomPDF <i>Business</i> のみ).....	16
詳細設定.....	16
トラッキングの実施 (PhantomPDF <i>Business</i> のみ).....	17
ConnectedPDF 保護.....	18
ConnectedPDF を保護する (PhantomPDF <i>Business</i> のみ).....	18
アクセス許可の設定.....	18
保護された PDF にアクセス許可をリクエストする	20
アクセス許可の表示.....	20
オフラインコピーの保存.....	21
保護の取り消し (PhantomPDF <i>Business</i> のみ).....	21
ConnectedPDF によるコラボレーション.....	22
Connected レビュー	22
ファイルをリクエスト.....	23

ConnectedPDF のチュートリアル	24
お問い合わせ	25

ConnectedPDF について

Foxit ConnectedPDF は ConnectedPDF クラウドサービスを使用して各 PDF に ID を割り当て、PDF の作成や配布、編集などのイベントをトラッキングできます。ConnectedPDF 文書がどこにあっても、いくつ配布されても、変更を加えられても問題ありません。文書の所有者はいつでもリアルタイムで文書をトラッキングすることができ、関係者とコラボレーションできます。通常の PDF とは異なり ConnectedPDF はそれぞれの場所のファイルやユーザーを繋ぎ、動的に機能します。



ConnectedPDF をサポートする Foxit の製品とサービスは以下の通りです:

- Foxit PhantomPDF (Windows)
- Foxit Reader (Windows / Mac OS X)
- Foxit MobilePDF (Android / iOS)
- Foxit WebPDF Reader (Internet Explorer 9/10/11、Microsoft Edge、Google Chrome、Mozilla Firefox、Safari、Opera)
- Foxit Web Tools (Internet Explorer 10/11、Microsoft Edge、Google Chrome、Mozilla Firefox、Safari、Opera)

これらのアプリケーションやサービスには、ConnectedPDF ファイルの作成や保護、ファイルアクセスをトラッキングするためのパワフルで使いやすいツールが用意されてい

ます。また別途サーバーを用意せずとも、いつでもどこでも利用できる ConnectedPDF を使用した共有レビューの開始と参加も可能です。

ノート: インストールが正常に完了すると、アプリケーションの初回起動時に ConnectedPDF についてのウェルカムウィザードが表示され、既定の設定を編集することができます。

PDF ファイルを ConnectedPDF 形式で自動的に保存: このオプションをチェックすると、作成・保存する PDF を自動で ConnectedPDF に変換します。

ConnectedPDF 機能の利用時に使用状況に関する情報を Foxit と共有: [文書のトラッキング](#)や[保護](#)などの ConnectedPDF 機能を使用する場合は、文書の使用状況に関する情報を Foxit のサーバーに送信する必要があります

ダイアログで **設定を適用してサインイン** を選択するか、または後から環境設定メニューで設定することもできます。

ヒント:

1. ウェルカムウィザードの内容はプラットフォームにより異なります。画面の指示に従って設定内容を選択してください。
2. ConnectedPDF 機能の使用には Foxit アカウント内での設定が必要です。Foxit アカウントへのサインインについては、[Foxit アカウント](#) を参照してください。


文書のホームページ

文書のホームページには、それぞれの文書のメタデータが表示され、すべての属性、バージョン履歴、イベント、その文書のユーザー情報が表示されます。文書の所有者であれば、以下の手順で文書のホームページを参照できます:

- (Windows) **Connect > 文書情報 > 文書のホームページ** をクリック
- (Mac OS X) **Connect > Document Homepage** をクリック
- (Android & iOS) **その他 (点 3 つのマーク) > CONNECT > 文書のホームページ** をタップ

ヒント: 初期設定では、文書の所有者のみ文書のホームページにアクセスできます。文書の所有者は[アクセス許可タブ](#)から設定の変更ができます。詳細は [文書のホームページのアクセス許可の設定](#) を参照してください。


文書のホームページには複数のタブがあります。ホーム、バージョン、表示、イベント、アクセス許可、ユーザー、統計 です。文書の情報 として現在、オリジナル、最新の文書の情報が表示されます。現在の文書は現在開いている文書、最新の文書は最も新しく登録されたバージョンの文書、オリジナルの文書は最初に ConnectedPDF 文書に変換された文書です。

- **ファイル名** – そのバージョンのファイル名を表示します。
- **バージョン** – バージョン番号を表示します。
- **登録者** – 新規バージョンの登録をおこなったユーザーを表示します。
- **登録日時** – 新規バージョンの登録をおこなった日時を表示します。
- **作成者** – Foxit PhantomPDF や Foxit Reader、または別のアプリケーションでソースファイルから ConnectedPDF 文書に変換したユーザーを表示します。
- **cPDF に変換した日時** – cPDF ファイルに最初に変換した日時を表示します。
- **cPDF に変換したツール** – 文書を cPDF ファイルに変換したアプリケーションを表示します。
- **デバイス** – 新規バージョンの登録をおこなったデバイスの名称を表示します。
- **ページ** – 文書のページ数を表示します。
- **サイズ** – 文書のファイルサイズを表示します。
- **所有者** – 文書の所有権を持つユーザーを表示します。文書の所有者であれば、**編集ボタン** (鉛筆のアイコン ) をクリックして別のユーザーを所有者に変更することもできます。

ノート: 初期設定では、**文書の情報** のみ文書のすべてのユーザーが参照することができます。文書の所有者は **アクセス許可** タブの設定を変更することで文書のホームページの他の情報にもアクセスできるよう設定が可能です。

文書の所有権を他のユーザーに変更する

所有者でない文書の閲覧者は、**新規バージョンの登録** の際に更新通知を送信することができず、また文書に対しすべてのアクセス許可はありません。必要に応じて以下の手順で文書の所有者は信頼する別のユーザーに所有権を変更することができます。


1. **文書のホームページ**で**文書の情報**を参照し、**オリジナル**を選択します。
2. **編集ボタン** (鉛筆アイコン )を選択して、新しい所有者の電子メールを入力して保存します。
3. メッセージボックスが表示され、変更の操作が成功したことが表示されます。

前の文書の所有者と現在の所有者の両方のユーザーのホームページに、変更履歴が自動的に記録されます。詳細は **ユーザーのホームページのメッセージセンター** を参照してください。

ホームタブ

このタブでは、最新バージョン、最近の閲覧、最近のイベント、直近の 7 日間の利用状況に関する情報など、現在の文書についての基本情報を参照できます。

- **文書の最新バージョン:** バージョン番号、親バージョンを含む文書の最新バージョン

ョンのプロパティ情報を表示します。矢印  をクリックまたはタップして詳細を表示します。このバージョンが登録者によってサーバーにアップロードされている場合、ファイルリンクが表示され、ユーザーはダウンロードすることができます。

- **最近の閲覧:** 閲覧したユーザー、閲覧日時、閲覧したバージョンを含む文書の閲覧履歴が表示されます。**すべての詳細を表示** をクリックまたはタップすると **表示タブ** に切り替わり、閲覧履歴についての詳細を確認できます。
- **最近のイベント:** 文書の所有者、閲覧者の両方のユーザーが文書に対して実行した操作がイベントとして記録されます。誰が文書にアクセスしたのかユーザー一覧がリスト表示され、操作内容とその日時が表示されます。**すべてのイベントを表示** をクリックまたはタップすると **イベントタブ** に切り替わり、イベントについての詳細を確認できます。
- **統計:** 直近の 7 日間に文書に何回アクセスがあったかをグラフで表示します。**すべての詳細を表示** をクリックまたはタップすると **統計タブ** に切り替わり、詳細を確認できます。

バージョンタブ

バージョンタブではツリー表示で文書のバージョン履歴の詳細が表示され、ユーザーによって登録されたすべてのバージョンを確認できます。フォルダーアイコンをクリックまたはタップすると以降のバージョンを表示/非表示し、目のアイコンをクリックまたはタップするとそのバージョンについて登録者、登録日時、どのデバイスから登録されたか等の詳細情報を表示/非表示します。

バージョン番号の上にカーソルを移動、またはタップするとドロップダウンメニューが表示され、状況に応じて **オンラインでファイルを表示**、**ローカルのファイルを開く**、**ファイルをリクエスト** のオプションを選択できます:

- **オンラインでファイルを表示:** 選択した文書のバージョンを既定のブラウザで開きます。このオプションは該当バージョンの「新規バージョンの登録」実行時に、登録者がサーバーにアップロードした場合のみ表示されます。
- **ローカルのファイルを開く:** ローカルドライブにある文書を開きます。このオプションは現在のユーザーがその文書を保有している場合にのみ表示されます。
- **ファイルをリクエスト:** 文書の該当バージョンのユーザーにリクエストを送信します。詳細は **ファイルをリクエスト** を参照してください。

ヒント: アプリケーションの **Connect > 文書情報 > バージョン履歴** をクリックしてバージョンタブを開くこともできます。

表示タブ

このタブには文書の閲覧に関するイベントがすべて記録されます。閲覧したユーザー、閲

覧したバージョン、閲覧日時、使用したアプリケーション、オープンに成功したかどうかについての情報を表示します。初期設定では1ページにつき10件の記録が表示されます。右上にあるドロップダウンボックスをクリックまたはタップすることで、1ページあたりの記録の表示件数を変更することができます。

イベントタブ


Foxit ConnectedPDF は文書上で実行されたすべてのイベントを記録することができます。この機能により、誰がアクセスしたのか、いつアクセスしたのか、どのような操作を実行したのかを確認できます。このタブには、閲覧、変更、注釈など文書に実行されたすべてのイベントが一覧表示されます。

必要に応じて表示するイベントをフィルターし、電子メール/ 種類/ 日時/ アプリケーションについて特定項目を指定し表示しないようにすることもできます。その場合は各カラムの横にある下矢印をクリックまたはタップして項目を選択してください。初期設定では1ページにつき10件の記録が表示されます。右上にあるドロップダウンボックスをクリックまたはタップすることで、1ページあたりの記録の表示件数を変更することができます。

アクセス許可タブ

このタブでは、文書の所有者はすべてのユーザーに対する一般的な文書のホームページの閲覧設定をおこなうことができます。また、個別のユーザーに対して文書のアクセス許可の設定をおこなうことも可能です。両者に矛盾がある場合は、後者の設定が優先されます。

文書のホームページのアクセス許可の設定

1. **文書のホームページタブにて、文書のホームページのアクセス許可**を選択します。ここでは **文書の情報を表示** と **使用状況データを表示** の二つのアクセス許可を設定できます。初期設定では **文書の情報を表示** がチェックされており、有効な場合はすべてのユーザーが「**文書の情報**」を閲覧することができます。**使用状況データを表示** を有効にすると、「**文書の情報**」を除く文書のホームページのすべての情報のアクセスを許可します。
2. **編集ボタン** (鉛筆アイコン ) をクリックまたはタップしてアクセス許可を編集できます。
3. 各アクセス許可のボックスにチェックするかまたはチェックを外し、「他のすべてのユーザー」の許可を設定したら **OK** をクリックまたはタップしてください。メッセージボックスが表示され、設定操作が成功したことが表示されます。
4. (オプション) **新しいユーザーを追加** をクリックまたはタップして、特定のユーザーに対する文書のホームページのアクセス許可を設定することもできます。ダイアログボックスが表示されますので、指定するユーザーの電子メールを入力し、アクセス許

可を選択して送信をクリックまたはタップしてください。

文書のアクセス許可の設定

1. **文書のアクセス許可**タブを選択すると、事前に Foxit PhantomPDF の **Connect** タブにある**アクセス許可を設定** より設定した文書のアクセス許可が表示されます。
2. **新しいユーザーを追加** をクリックして別のユーザーにアクセス許可設定を追加できます。ダイアログボックスが表示されますので、必要に応じてオプションを選択してください。詳細は [アクセス許可を設定](#) を参照してください。
3. (オプション) **アクセス許可を取り消し** を選択するとその文書に設定したすべてのユーザーのアクセス許可をキャンセルすることができます。

ユーザータブ

このタブでは、該当文書のすべてのユーザーとユーザーの電子メールのリストが表示されます。

ヒント: アプリケーションより **Connect** > **文書情報** > **文書のユーザー** をクリックして、**ユーザー**タブを開くこともできます。

統計タブ

このタブでは、直近の 7 日間に文書に何回アクセスがあったかをグラフで表示します。また、操作の種類についてパーセンテージで表示します。


Foxit アカウント

ConnectedPDF 文書の作成やコントロール、保護をおこなうには Foxit アカウントが必要です。また、コラボレーションをおこなう他のユーザーにもアカウントが必要となります。

Foxit アカウントを作成するには以下の操作を実行してください:

- (Windows および Mac OS X) アプリケーションウィンドウの右上にあるアカウントボタンをクリックして Foxit アカウントのサインアップを実行してください。アカウントに使用する電子メールアドレスを入力して送信するだけで、Foxit から仮パスワードの記載された電子メールが発行されます。パスワードは後から任意に変更できます。
- (Android および iOS) アプリケーションのメインメニューより **サインイン** を選択し、画面の「**サインアップ**」を選択すると画面が切り替わります。アカウントに使用する電子メールアドレスを入力し、パスワードを設定して Foxit アカウントを作成してください。

アカウントのプロフィールとパスワードを変更するには以下の手順を実行します:

- (Windows および Mac OS X) サインインした状態でアカウントボタン横の逆三角アイコン  をクリックして電子メールアドレスをクリックしてください。プロフィールの画面が表示されますので、必要に応じてプロフィール情報やパスワードの変更や設定をおこなってください。
- (Android および iOS) [パーソナルホームページ \(またはユーザーのホームページ\)](#) のアバター画像をタップしてプロフィールを選択します。プロフィールの画面が表示されますので、必要に応じてプロフィール情報やパスワードの変更や設定をおこなってください。

アカウントからログアウトするには以下の手順を実行します:

- (Windows および Mac OS X) アカウントボタン横の逆三角アイコンをクリックしてサインアウトを選択します。
- (Android および iOS) メニューよりマイアカウントを選択してログアウトを選択します。

ユーザーのホームページ (パーソナルホームページ)

Foxit アカウントを使用する各ユーザーには個別のホームページが用意されており、パーソナル情報の設定やアクセス履歴の参照、送受信したメッセージの保持、アクセスした文書 (自身が所有者である文書および他者が所有者である文書) の管理、そしてリクエストの返信を動的におこなうことができます。また、ユーザーのホームページではファイルのリクエストやアップロードした文書の削除、文書の所有権の変更も実行することができます。ユーザーのホームページを開くには以下の手順を実行してください:

- (Windows および Mac OS X) アプリケーション右上のアカウントボタンをクリックしてユーザーホームを開きます。
- (Android および iOS) **マイアカウント > パーソナルホームページ** をタップします。

ノート: Windows 環境では、**文書のホームページ**または**ユーザーのホームページ**のどちらかを初めて開くときにダイアログウィンドウが表示され、上記ページをアプリケーションのタブで開くか既定のブラウザで開くかを選択できます。どちらか一方を選択して **OK** をクリックしてください。設定は **ファイル > 環境設定 > ConnectedPDF** で変更できます。

Windows および Mac OS X の場合、**プロフィールページ**を開いてユーザー名やアバター画像、パスワードを設定するには、アプリケーションウィンドウ右上のアカウントボタンの横にある逆三角をクリックして電子メールアドレスをクリックするか、または**ユーザーのホームページ**を開いて画面右上に表示されるメールアドレス (またはユーザー名) にカーソルを移動して表示されるメニューで**プロフィール**を選択してください。Android および iOS の場合は、**パーソナルホームページ**のアバターをタップして表示されるプロフィールを選択して、**プロフィール**を操作できます。

ユーザーのホームページには、ユーザーホーム、文書、メッセージセンターの 3 つのタブがあります。

ユーザーホーム

このタブでは送受信した最新のメッセージの他、よく使用する文書や所有者である文書、アップロードした文書についての概要を参照することができます。すべて表示をクリックまたはタップすることで**文書**タブや**メッセージセンター**タブに切り替わり、詳細を確認できます。

また、「**文書を cPDF に変換**」や「**オンラインで PDF を開く**」などブラウザで利用できる Foxit WebPDF Reader の機能を試用することもできます。Foxit WebPDF Reader はセットアップのダウンロードやプラグインを必要としないブラウザで利用できるオールインワンの PDF ソリューションです。詳細は [Foxit WebPDF Reader](#) を参照してください。

文書

このタブでは、**マイドキュメント**、**すべての文書**、**アップロードした文書** の 3 種類の文書のリストを利用できます。

マイドキュメントは所有権を持つすべての文書のリストです。各文書のファイル名、最新バージョン、最終更新日、文書の場所などが表示されます（**ノート**：文書が Foxit ConnectedPDF サーバーにアップロードされていれば「**場所**」には**オンライン**と表示され、そうでなければ **N/A** と表示されます）。初期設定では、1 ページに 20 件の文書が表示され、画面右上のドロップダウンボックスをクリックまたはタップすることで表示件数を変更することができます。

- ファイル名の横の目のアイコンをクリックまたはタップして、その文書の詳細情報を表示します。
- ファイル名をクリックまたはタップして、その文書のホームページを表示します。
- **アクション**の項目にある縦に 3 点並んだアイコンにカーソルを移動するか、またはタップすると以下のオプションが表示されます：

オンラインでファイルを表示：既定のブラウザで該当するバージョンの文書を開きます。このオプションは登録時にそのバージョンがサーバーにアップロードされている場合のみ表示されます。

ローカルのファイルを開く：ローカルドライブにある文書を開きます。このオプションは現在のユーザーがローカルドライブに文書を保有している場合のみ表示されます。

ファイルをリクエスト：該当のバージョンを保有するユーザーにファイルのリクエスト

トを送信します。詳細は [ファイルをリクエスト](#) を参照してください。

所有者を変更: 別のユーザーに所有権を移譲します。文書のすべてのアクセス許可が指定したユーザーに付与されます。

削除: アップロードしたバージョンを削除します。このオプションはアップロードした文書のリストでのみ利用可能です。

すべての文書 はユーザーがアクセスしたすべての ConnectedPDF 文書のリストです。各文所のファイル名、所有者の名前、閲覧したバージョン、閲覧日時、オープンステータス(ファイルオープンに成功したかどうか)等が表示されます。**アクション**の項目にある縦に3点並んだアイコンにカーソルを移動するか、またはタップするとオプションが表示されます。

アップロードした文書 はユーザーがアップロードした文書のリストを表示します。**アクション**の項目でオンラインに保存された文書の閲覧、または削除を選択できます。

メッセージセンター

他のユーザーからファイルの送信やアクセス許可について、リクエストを受けることがあるかもしれません。ユーザーのホームページにあるメッセージセンターを使用すれば、そのようなリクエストにすばやく返信することができます。また、メッセージセンターでは送信したリクエストメッセージや文書の所有権の変更履歴も記録されます。**メッセージセンター**タブで**受信**または**送信済み**を選択して、**文書のアクセス許可のリクエスト**、**文書のリクエスト**、**文書のホームページのアクセス許可リクエスト**、**文書の所有権の変更**の4項目についてメッセージを参照できます。

- **文書のアクセス許可のリクエストと文書のホームページのアクセス許可のリクエスト**のタブでは、リクエストされたファイル名、リクエスト相手の電子メール、いつ・どの許可がリクエストされたか、リクエストのステータス(リクエストが承認されたかどうか)等が表示されます。ファイル名の横の目のアイコンをクリックまたはタップして、リクエストメッセージを確認できます。**アクション**の項目のアイコンにカーソルを移動またはタップして **承認** または **拒否** を選択し、電子メールとシステム通知でメッセージを送信するかどうか選択できます。
- **文書のリクエスト**のタブでは、リクエストされたファイル名、リクエスト相手の電子メール、いつ・どのバージョンがリクエストされたのか、リクエストのステータスが表示されます。ファイル名の横の目のアイコンをクリックまたはタップして、リクエストメッセージを確認できます。**アクション**の項目のアイコンにカーソルを移動またはタップして **承認** または **拒否** を選択し、電子メールとシステム通知でメッセージを送信するかどうか選択できます。
- **文書の所有権の変更**タブでは、ファイル名、前の所有者と現在の所有者の電子メール、そしていつ所有権が変更されたか記録されます。**送信済み > 文書の所有権の変更** を選択した場合は、変更履歴として現在の所有者の情報がリストされます。また、**受信 > 文書の所有権の変更** を選択した場合は、ユーザーに変更される以前の所有者の情報

がリストされます。

ヒント: メッセージセンタータブに表示される数字は、まだ処理されていないリクエストの数を示します。

ConnectedPDF の作成

ワンステップで Connected PDF を作成

Foxit PhantomPDF 8.X および Foxit Reader 8.X を使用すると、初期設定で他の形式から PDF を作成するときに Connected PDF ファイルとして作成します。また、既存の PDF ファイルを編集して保存した場合も自動的に Connected PDF ファイルに変換します。既存の PDF ファイルを Connected PDF ファイルに変換するには以下を実行します:

- (Windows) **Connect > ConnectedPDF の作成 > cPDF に変換** を選択
- (Mac OS X) **Connect > Convert to cPDF** を選択
- (Android & iOS) 文書を開いて **メニュー (3 つの点のアイコン) > CONNECT > cPDF に変換** を選択

ConnectedPDF の自動作成はいつでも有効/ 無効の設定を切り替えることができます :

- (Windows) **ファイル > 環境設定 > ConnectedPDF** を選択して、**PDF ファイルを ConnectedPDF 形式で自動的に保存** のチェックを有効/ 無効にする
- (Mac OS X) **Foxit Reader > Preferences > ConnectedPDF** を選択して、**Automatically save PDF files in ConnectedPDF format** のチェックを有効/ 無効にする
- (Android & iOS) **設定 > CONNECT** の **ConnectedPDF に変換** のボタンを ON/ OFF にする

ConnectedPDF の自動作成を無効にしている場合は、**Connect** タブの **cPDF に変換** を使用して Connected PDF ファイルを作成することができます。先に通常の PDF ファイルを作成してから Connected PDF ファイルに変換することになります。

初期設定では、Foxit Reader (for Windows) および PhantomPDF の Office プラグインで PDF を作成すると自動で ConnectedPDF として出力されます。ConnectedPDF として作成した後はプラグインの**文書のホームページ**ボタンを使用して、ConnectedPDF ファイルの文書のホームページにアクセスすることができます。この設定を無効にするには、**ファイル > 環境設定 > ConnectedPDF** を選択して、**Office add-in で PDF に変換するとき Office ファイルを自動的に Connected 文書に変換する** オプションを無効にしてください。

所有権のある Connected PDF を作成する

所有権のある ConnectedPDF 文書を作成するには、先に Foxit アカウントにサインインする必要があります。サインインせずに ConnectedPDF 文書を作成した場合、[文書のホームページ](#) で所有者として表示されず、また所有者ではないためにいくつかの情報にアクセスできなくなります。

既存の ConnectedPDF 文書の所有者になるには、Foxit PhantomPDF で [文書のクローン](#) を作成する方法があります。既存の ConnectedPDF 文書が保護されている場合は、クローンを作成する前に文書の所有者にアクセス許可をリクエストする必要があります。

新規バージョンの登録

頻繁に文書を更新するユーザーは、以前のバージョンに戻したり、文書の変更履歴を記録したりする必要があるかもしれません。Foxit PhantomPDF、Foxit Reader、そして Foxit MobilePDF を使用すれば、所有者・閲覧者を問わず文書のユーザーは更新した ConnectedPDF 文書を新しいバージョンとして登録することができます。登録されたバージョンは [文書のホームページ](#) の文書のバージョンツリーに記録されます。

文書のユーザーは新しいバージョンの文書を登録者にリクエストすることができます ([ファイルをリクエスト](#) を参照)。登録者が新しいバージョンを Foxit Connected サーバーにアップロードしている場合は、他のユーザーはそのファイルを直接ダウンロードすることも可能です。

この機能はファイルやユーザー、場所、システムを一括して管理できるため、文書作成や更新のコラボレーションを合理的に進めることができます。

新規バージョンの登録は以下の手順を実行してください。

1. Foxit アカウントにサインインして ConnectedPDF 文書を開きます。Foxit アカウントがない場合は、“Foxit アカウント” の項を参考にして先ずサインアップをおこなってください。
2. 文書の変更を保存して、Windows および Mac OS X の場合は **Connect > 新規バージョンの登録** を選択してください。Android および iOS の場合は、**メニュー**(3つの点のアイコン) > **CONNECT > 新規バージョンの登録** を選択します。
3. 必要に応じてタグを編集し、バージョンの説明を入力してください。
4. (オプション) Foxit PhantomPDF *Business* を使用している場合、文書の所有者であれば **ユーザーに通知** オプションにチェックして他のすべてのユーザーに更新通知を送ることができます。更新通知は同じ ID の文書を他の閲覧者が開いたときに表示されます。
5. **登録** をクリックします。バージョン情報 (バージョン番号、登録者、登録日時など) が [文書のホームページ](#) のバージョンツリーに記録されます。
6. (オプション) Foxit PhantomPDF または Foxit Reader を使用している場合は、**登録とアップロード** をクリックして、新規バージョンの情報登録と共にファイルを

Foxit ConnectedPDF サーバーや指定した他のサーバーにアップロードすることができます。

文書のクローン (PhantomPDF Business のみ)

許可されている場合は、文書のクローンを作成して自分を所有者とした新しい ConnectedPDF 文書を作成できます。文書のクローンには新しい ID と [文書のホームページ](#) が割り当てられます (バージョン履歴やイベントなどの元の文書の情報はすべて消去されます)。

1. アカウントにサインインして文書を開き、**Connect > ConnectedPDF の作成 > 文書のクローン** を選択します。
2. 表示されるダイアログで「はい」をクリックします。
3. 操作が成功したことを示すメッセージが表示されます。
4. ファイル名が「[元の文書名]_cloned.pdf」と付けられ、元の文書と同じ場所に新しい ConnectedPDF 文書として保存されます。

ノート:

所有者のいない ConnectedPDF 文書は、**文書のクローン** を実行することでユーザーが所有権 (すべてのアクセス許可) を持つ文書として作り直すことができます。

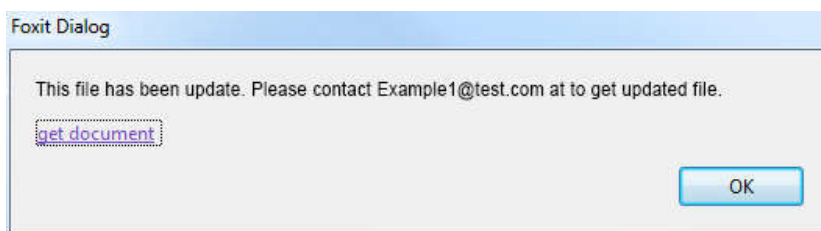
Foxit Connected 形式で保護された ConnectedPDF 文書は、文書のクローンを作成した場合であっても Foxit Connected 形式で保護されて出力されます。しかし、設定されていたアクセス許可は保持されません。詳細は [ConnectedPDF の保護](#) を参照してください。

トラッキング実施されている ConnectedPDF 文書は、文書のクローンを作成した場合であってもトラッキングは実施されたままです。詳細は [トラッキングの実施](#) を参照してください。

詳細設定

Foxit 以外の製品で更新通知の受け取りを有効にする (PhantomPDF Business のみ)

初期設定で、文書の所有者が新規バージョンの登録を実行して更新通知を送信しても、Foxit 以外の製品で ConnectedPDF 文書を開くユーザーは更新通知を受け取ることができません。文書の所有者は、**Connect > 詳細設定 > Foxit 以外の製品で更新通知の受け取りを有効にする** にチェックして個別の文書に対し設定を変更することができます。この機能により、ユーザーが Foxit 以外の製品で該当する文書のコピーを開いたときも更新通知を受け取ることができます。



ConnectedPDF レイヤーを追加 (Foxit Reader for Windows および PhantomPDF のみ)

Foxit 以外のアプリケーションを使用するユーザーにも文書のホームページを開けるようにするには、**Connect > 詳細設定 > ConnectedPDF レイヤーを追加** オプションを使用する方法があります。有効にすると、Foxit 以外の製品で文書を開いたときに先頭ページの余白部分に ConnectedPDF レイヤーを表示します。このレイヤーをユーザーがクリックすると、その文書のホームページをブラウザで開きます。



トラッキングの実施 (PhantomPDF Business のみ)

文書の所有者はトラッキング機能を使用して、適用した ConnectedPDF 文書のイベントを記録でき、誰がアクセスしたのか、どのような操作をしたのか、いつ文書のどこに変更を加えたのかを捕捉できます。この機能が実行されている場合、各文書のイベントをトラッキングして所有者が [文書のホームページ](#) で情報を確認できるように、すべてのユーザーは ConnectedPDF 対応アプリケーションで文書を開く前にアカウントにサインインしなければなりません。トラッキングが実施されている PDF が Foxit 製品以外の PDF リーダーで開かれた場合は、ラッパーページが表示され、ユーザーに Foxit ConnectedPDF 対応アプリケーションが必要であることを案内します。

1. サインインしてから文書を開きます。
2. **Connect > トラッキング > トラッキングの実施** をクリックします。 **ファイル > 環境設定 > ConnectedPDF** の設定で **ConnectedPDF 機能の利用時に使用状況に関する情報を共有** のオプションが無効の場合は、**トラッキングの実施** をクリックした後にデータトラッキングを有効にするためのダイアログが表示されます。
3. 上記の後、元の文書と同じフォルダーに「[元の文書名]_トラッキング実施中.pdf」と名前の付いた新しい文書が生成されます。新しい文書が自動的に開かれ、元の文書が閉じます。

新しく生成される文書はトラッキングを実施したユーザーが所有権を持つ新しい ConnectedPDF 文書です。新規の ID と [文書のホームページ](#) が割り当てられます (元の文書のバージョン履歴やイベント等の情報は消去されます)。

ノート: Foxit PhantomPDF によってトラッキングを実施された ConnectedPDF 文書は、Foxit ConnectedPDF 対応アプリケーションを使用してサインインしているユーザーのみ開くことができます。

ConnectedPDF 保護

ConnectedPDF を保護する (PhantomPDF Business のみ)

Foxit PhantomPDF を使用すれば ConnectedPDF ファイルに Foxit Connected 形式の保護をワンクリックで適用できます。この保護は PDF ファイルに対して複雑な操作や導入作業は必要なく、リアルタイムで実行することができます。文書の所有者は文書の配布前、配布後を問わず、個別のユーザーに対してアクセス許可の設定が可能です。文書のアクセス許可が必要なユーザーは、所有者に指定のアクセス許可をリクエストすることができます。Foxit 製品以外の PDF リーダーで保護された PDF を開いた場合はラッパーページが表示され、ユーザーに Foxit ConnectedPDF 対応アプリケーションが必要であることを通知します。

1. サインインしてから文書を開きます。
2. **Connect > ConnectedPDF 保護 > 文書の保護** をクリックします。ファイル > 環境設定 > ConnectedPDF の設定で **ConnectedPDF 機能の利用時に使用状況に関する情報を共有** のオプションが無効の場合は、**文書の保護** をクリックした後にデータトラッキングを有効にするためのダイアログが表示されます。
3. 上記の後、元の文書と同じフォルダーに「[元の文書名]_保護.pdf」と名前の付いた新しい文書が生成されます。元の文書が閉じて、新しい文書が自動的に開かれます。
4. ダイアログボックスが表示されます。そのまま閉じるか、または **アクセス許可の設定** をクリックして個別のユーザーにアクセス許可を指定できます。詳細は [アクセス許可の設定](#) を参照してください。

新しく生成される文書は保護を実行したユーザーが所有権を持つ新しい ConnectedPDF 文書です。新規の ID と [文書のホームページ](#) が割り当てられます (元の文書のバージョン履歴やイベント等の情報は消去されます)。

ノート: Foxit Connected 形式で保護された ConnectedPDF 文書は、Foxit ConnectedPDF 対応アプリケーションを使用してサインインし、閲覧を許可されているユーザーのみ開くことができます。

アクセス許可の設定

ConnectedPDF 文書に Foxit Connected 保護を適用した後、文書の所有者は個別のユーザーにアクセス許可を設定することができます。

1. Foxit PhantomPDF の **Connect** タブにある **アクセス許可の設定** をクリックします。

Foxit Reader (Windows および Mac OS X) や Foxit MobilePDF (Android および iOS) の場合は、**Connect > アクセス許可の表示** をクリックまたはタップします。

2. **アクセス許可の設定ダイアログの新しいユーザーの追加タブ**で、アクセス許可を付与するユーザーの電子メールアドレスを入力し、追加ボタンをクリックまたはタップしてユーザー一覧に追加します。
3. 以下のアクセス許可オプションを選択します:

閲覧: 文書の閲覧を許可します。

印刷: 文書の印刷を許可します。解像度はプリンターの設定に依存します。

フォームフィールドの入力: PDF フォームへの入力を許可します。

アクセスビリティのための内容の抽出: 視覚障害者のためのスクリーンリーダーデバイスによるテキストアクセスを許可します。

4. **詳細設定**をクリックまたはタップして他のオプションを設定できます:

印刷: (追加ボタンをクリックまたはタップしてオプションを表示します)

低解像度/ 高解像度: 文書を印刷する解像度を指定します。

編集:

注釈 – 文書への注釈を許可します。

ページとしおりの操作 – Foxit PhantomPDF の**ページ編集**タブを使用したページの編集、およびしおりの編集を許可します。

文書の変更 – Foxit PhantomPDF の**編集**タブを使用した文書のコンテンツの編集を許可します。

コピー:

内容のコピー – ページコンテンツのコピーを許可します。

オフラインコピーの作成: 日数を指定して文書のオフラインコピーの有効期限を設定します。期限を過ぎるとコピーは開けなくなります。

文書の有効期限: 日付を指定して文書の有効期限を設定します。期限を過ぎると文書は開けなくなります。

5. **アクセス許可を追加** をクリックまたはタップして設定します。完了したら **閉じる** をクリックまたはタップしてダイアログを終了してください。
6. (オプション) **アクセス許可の一覧**タブをクリックまたはタップして、設定済みのア

アクセス許可の表示、編集、取り消しができます。

保護された PDF にアクセス許可をリクエストする

Foxit Connected 形式で保護された PDF を許可されていないユーザーが開いたとき、ラッパーページが表示され、文書の所有者にアクセス許可のリクエストが必要なことを案内します。

1. ラッパーページ上で、アクセス許可をリクエストする理由を入力します。
2. 必要なアクセス許可をチェックします。
3. **リクエストを送信** をクリックまたはタップします。

保護された文書の閲覧を許可されている場合、文書を開いて **Connect** タブの**アクセス許可の表示**をクリックまたはタップし、他のアクセス許可をリクエストすることができます。**アクセス許可の表示**ダイアログで**他のアクセス許可もリクエストする** をクリックまたはタップして、リクエストするアクセス許可を選択し、リクエストの理由を入力して、電子メールとシステム通知の送信を選択し、**リクエストを送信** をクリックまたはタップして実行します。

文書の所有者にリクエストの電子メールが送信され、また設定している場合は文書を開いたときに通知が表示されます。所有者は電子メールに記載されたリンクを Web ブラウザーで開いてリクエストに対応するか、またはシステム通知のボックスで**許可/拒否**を選択できます。その他にも所有者はユーザーのホームページのメッセージセンターでリクエストを確認し、対応することができます。詳細は [ユーザーのホームページのメッセージセンター](#) を参照してください。

アクセス許可の表示

文書の所有者は **アクセス許可の表示** ダイアログボックスで設定済みの **アクセス許可の一覧**を確認できます。所有者でない閲覧者は **アクセス許可の表示** ダイアログボックスを開くと、該当文書の本人のアクセス許可のみ表示されます。**アクセス許可の表示**ダイアログボックスは以下の操作で開くことができます:

- (Windows) **Connect > ConnectedPDF 保護 >アクセス許可の表示** をクリック
- (Mac OS X) **Connect > View Permissions** をクリック
- (Android & iOS) **メニュー (3つの点のアイコン) > Connect > アクセス許可の表示** をタップ

ノート: Android および iOS の場合、所有者・閲覧者共に本人のアクセス許可のみ表示されます。

また、文書のホームページでもアクセス許可を確認できます。詳細は [文書のホームページのアクセス許可タブ](#) を参照してください。

オフラインコピーの保存

オフライン環境で作業しなければならない場合、文書をローカルドライブに保存するかも知れません。このような文書のオフラインコピーに対しても不正なアクセスを防ぐため、自分のデバイスのみアクセスを制限したり、パスワードを設定して保護を適用することができます。また、オフラインコピーに有効期限を指定して、期限が過ぎると開けなくなるように設定することも可能です。詳細は [アクセス許可の設定](#) を参照してください。

デバイスをベース

デバイスをベースにオフラインコピーを保存すると、元の文書と同じフォルダーに「[元の文書名]_オフライン.pdf」という名前が付けられた新しい文書が保存されます。開いていた元の文書を閉じて新しい文書が自動的に開かれます。以下の操作で実行します：

- (Windows) **Connect > ConnectedPDF 保護 > オフラインコピーの保存 > デバイスをベース** をクリック
- (Mac OS X) **Connect > Save Offline Copy > Base on Device** をクリック
- (Android & iOS) **メニュー (3つの点のアイコン) > CONNECT > オフラインコピーの保存 > デバイスをベース** をタップ

パスワードをベース

パスワードをベースにオフラインコピーを保存すると、次回からオフラインコピーを開くときにパスワードの入力が必要になります。以下の操作を実行します：

- (Windows) **Connect > ConnectedPDF 保護 > オフラインコピーの保存 > パスワードをベース** をクリック
- (Mac OS X) **Connect > Save Offline Copy > Base on Password** をクリック
- (Android & iOS) **メニュー (3つの点のアイコン) > CONNECT > オフラインコピーの保存 > パスワードをベース** をタップ

保護の取り消し (PhantomPDF Business のみ)

文書の所有者は Foxit Connected 保護による文書のセキュリティ設定をワンステップで削除することができます。文書を開いて、**Connect > ConnectedPDF 保護 > 保護の解除** をクリックしてください。ダイアログが表示されますので、**保護を解除** をクリックしてセキュリティ設定を削除できます。また、**文書のクローンを作成** をクリックしてセキュリティを設定されていないクローンを作成することもできます。このとき既定で元の文書と同じフォルダーに「[元の文書名]_クローン.pdf」と名前の付いた新しい文書が生成され、元の文書を閉じて新しい文書を自動的に開きます。

ノート：所有者が保護された文書から保護を解除すると、同じ ID の割り当てられた文書のすべてのバージョンの保護が解除されます。

ConnectedPDF によるコラボレーション

Connected レビュー

別途サーバーを準備する必要なく、ConnectedPDF 文書にアクセスするユーザー（所有者と閲覧者の両方）はワンクリックで Connected レビューを開始したり、参加や中断したりできます。Connected レビューでは各参加者がお互いの注釈を確認することができ、リアルタイムで注釈を共有することができます。またレビューの依頼者はワンクリックですべての参加者を参照でき、いつでもレビューを終了することができます。

ノート:

各レビュー担当者はレビューの中断や終了しない限り、他のユーザーの作成した注釈を編集することはできません。レビュー担当者は [文書のクローン](#) を作成して、その新しい文書に保存されている注釈であればすべて編集することができます。しかしながら、クローンを作成するのではなくレビューを中断した場合、(1) レビュー担当者が同じセッションに再参加した場合、その文書内の注釈を編集できなくなります。(2) レビュー担当者が新しいレビューに参加した場合、公開されている注釈がその担当者によって変更されてしまうことがあります。


Connected レビューの開始と終了 (PhantomPDF Business のみ)

Connect > Connected レビュー > 開始 をクリックしてレビューを開始できます。Connected レビューを案内するメッセージボックスが表示されますので、**OK** をクリックしてください。アプリケーションウィンドウ右上に電球アイコンが表示され、現在のファイルで Connected レビューが実行されていることを示します。他のユーザーにも文書を開いたときに電球アイコンでレビューの実行中であることが示され、レビューに参加することができます。レビューの依頼者は、**Connect > Connected レビュー > 終了** をクリックしてレビューを終了することもできます。

Connected レビューの参加と中断

他のユーザーにより文書のレビューのセッションが開始されている場合、Connected レビューに参加して他のユーザーと注釈を共有できます。以下の操作を実行します:

- (Windows および Mac OS X) **Connect > Connected レビュー > 参加** をクリックしてレビューに参加します。参加しているレビューを中断して注釈の共有を停止するには、**Connect > Connected レビュー > 中断** をクリックします。
- (Android および iOS) ConnectePDF 文書を開いたとき、文書の所有者が Connected レビューを開始していると、ダイアログが表示されます。**OK** をタップして


Connected レビューに参加します。レビューを中断するには  をタップします。

参加者を表示

- (Windows および Mac OS X) **Connect > Connected レビュー > 参加者** をクリック
- (Android および iOS)  をタップ

ファイルをリクエスト

文書の他のユーザーが新規バージョンを登録した場合や、文書を誤って削除または紛失した場合などに、その文書を保有するユーザーにファイルのリクエストを送り、送信してもらうことができます。リクエストするバージョンと別のバージョンを開かなければならない等の操作も必要ないので、必要なファイルを失くした場合でも安心です。ファイルをリクエストするには以下の操作を実行します:

1. Foxit アカウントにサインインして [ユーザーのホームページ](#) を開き、**文書 > すべての文書** を選択します。リクエストするファイルの **アクション** の項目にある縦 3 点のアイコンにカーソルを移動するかタップして、メニューより **ファイルをリクエスト** を選択します。
2. (オプション) 古いバージョンの文書を保有していて新しいバージョンが必要な場合は、サインインして古いバージョンの文書を開き、以下の操作を実行します:
 - Windows であれば、**Connect > 文書情報 > バージョン履歴** または **文書のホームページ** を開きます。Mac OS X の場合は、**Connect > Document Homepage** を選択してください。そして**バージョンタブ**を選択します。リクエストしたいバージョンのバージョン番号にカーソルを移動して、メニューより **ファイルをリクエスト** を選択してください。詳細は [文書のホームページのバージョンタブ](#) を参照してください。
 - Android および iOS の場合はまず、**メニュー (3 つの点のアイコン) > Connect > 文書のホームページ** より文書のホームページを開きます。そして  をタップし、**バージョン** を選択します。リクエストしたいバージョン番号をタップして **ファイルをリクエスト** を選択します。

ノート: Windows 環境では、初めて**文書情報**グループのツールを使用するか、または**ユーザーのホームページ**を開いたときにダイアログウィンドウが表示され、ページをアプリケーションのタブで開くか既定のブラウザで開くか選択します。一方にチェックして **OK** をクリックしてください。後で **ファイル > 環境設定 > ConnectedPDF** より変更することができます。

3. **ファイルをリクエスト**ダイアログが表示されます。リクエストメッセージを入力し、ファイルをリクエストするユーザーを選択します (ノート: レコードがなく、何らかの理由で希望するバージョンを誰も保有していない場合もあります)。
4. **メールの送信とシステム通知** にチェックするとリクエスト先の登録者や文書の保有者がリクエストを受け取った時、リクエスト先のタスクバーに通知ボックスを表示します。

5. 必要であれば **次の 10 件** をクリックまたはタップして、リクエストした文書にアクセスした別のユーザーを表示します。
6. **リクエスト** をクリックまたはタップします。正常に実行されるとメッセージボックスが表示され、リクエストの送信が成功したことを表示します。
7. (オプション) もし送信したリクエストが長く保留されているようであれば、通知を再送することができます。ユーザーのホームページを開いて、**メッセージセンター > 文書のリクエスト > 送信済み** を選択してください。以前に送信したリクエストがリスト表示されます。必要に応じてアクションの項目の縦 3 点のアイコンにカーソルを移動するかタップして、メニューより**通知の再送**を選択できます。

登録者や文書の所有者は通知を受け取った後、通知のメッセージボックス上でリクエストを拒否するか、または**送信**をクリックして文書を電子メールに添付して送付することを選択できます。もしくはユーザーのホームページのメッセージセンターから文書のリクエストを確認して返信することもできます。詳細は [ユーザーのホームページのメッセージセンター](#) を参照してください。

ConnectedPDF のチュートリアル

ConnectedPDF についてチュートリアル動画を参照できます。Windows および Mac OS X の場合は、**Connect** タブのにあるチュートリアルよりご参照ください。Android および iOS の場合は、**メニュー (3 つの点のアイコン) > CONNECT > チュートリアル** よりご参照ください。

お問い合わせ

製品についてのお問い合わせや不具合等につきましては、下記までご連絡ください。

サポートサービスのご提供は、アクティベーション完了後より開始となります。ご質問の際はご利用環境 (OS、32 / 64bit) とレジストレーションキー、操作内容を詳しく明記して下記までご連絡ください。

株式会社 FoxitJapan

〒105-0022 東京都港区海岸 1-2-3 汐留芝離宮ビルディング 21F

Web:

<https://www.foxit.co.jp/>

お問い合わせフォーム:

<https://www.foxit.co.jp/contact>

Fax:

03-6800-5963